

<b>単元</b> 自然環境問題について考える (第3学年 全5時間)	<b>英語の目標</b> 「読むこと」ウ
---	-------------------------

<b>単元を通して育成を目指す資質・能力</b> 書かれた内容について、自分の考えを示すことができるように、話の内容や書き手の意見などを捉える力	<b>学習評価のキーワード</b> 「読むこと」における「思考・判断・表現」の評価
---	--

※本事例では、令和2年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果より、「書かれた内容について、自分の考えを示すことができるように、話の内容や書き手の意見などを捉える力」に課題が見られたことを踏まえて、「英語の目標」「単元を通して育成を目指す資質・能力」「学習評価のキーワード」を設定しています。

## 1 単元の目標と評価規準

### (1) 目標

海洋汚染についての英文を読んで概要、要点を捉えるとともに、その内容を基に自分の意見や考えを伝え合ったり、意見文を書いたりすることができる。

### (2) 評価規準（「読むこと」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係代名詞に関する事項を理解している。</li> <li>・ 関係代名詞の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	海洋汚染についての事実を知り、自分の意見や考えを伝えるために、英文の概要、要点を捉えている。	海洋汚染についての事実を知り、自分の意見や考えを伝えるために、英文の概要、要点を捉えようとしている。

※ここでは、「読むこと」についての評価規準を示していますが、実際の指導に当たっては、「書くこと」などの他の領域の評価規準も考えられます。

## 2 指導と評価の計画（全5時間）

時間	ねらい(■), 言語活動等(丸数字)	知	思	態	[評価方法]
1	<b>■単元の目標を理解する。</b> <b>■お気に入りのものについてペアで伝え合ったことを書く。</b> ①お気に入りのものについて Teacher talk を聞く。 ②お気に入りのものについて詳しく説明を加えてペアで伝え合う。 ③教科書の内容理解を通して関係代名詞 which (目的格) の特徴やきまりを理解する。 ④お気に入りのものについて再度ペアで伝え合う。 ⑤ペアで伝え合ったことを書く。				<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           本時では、[指導に生かす評価]を行います。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)</b>            ・お気に入りのものについて表現することが十分ではない生徒に対しては、例文を提示し、その一部を変えて表現するよう促す(言語活動等④)。         </div>

2	<p>■絵の人物やものの特徴についてペアで伝え合ったことを書く。</p> <p>①絵の人物やものの特徴について Teacher talk を聞く。          ②絵の人物やものの特徴について詳しく説明を加えてペアで伝え合う。          ③教科書の内容理解を通して関係代名詞 that (目的格) の特徴やきまりを理解する。          ④絵の人物やものの特徴について再度ペアで伝え合う。          ⑤ペアで伝え合ったことを書く。</p>	<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p> <p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)          ・お気に入りのものについて表現することが十分ではない生徒に対しては、例文を提示し、その一部を変えて表現するよう促す(言語活動等④)。</p>
3	<p>■写真の人物やものについてペアで伝え合ったことを書く。</p> <p>①写真の人物やものについて Teacher talk を聞く。          ②写真の人物やものについて詳しく説明を加えてペアで伝え合う。          ③教科書の内容理解を通して目的格の関係代名詞が省略される場合があることを理解する。          ④写真の人物やものについて再度ペアで伝え合う。          ⑤ペアで伝え合ったことを書く。</p>	<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p> <p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)          ・お気に入りのものについて表現することが十分ではない生徒に対しては、例文を提示し、その一部を変えて表現するよう促す(言語活動等④)。</p>
4 本時	<p>■教科書本文の要点を捉え、書き手の最も伝えたいことを伝え合う。</p> <p>①教科書本文を読み、おおまかな内容を捉える。          ②再度教科書本文を読み、書き手が最も伝えたいことが書かれた文を選び、印を付ける。          ③グループ内で選んだ文とその理由を共有する。          ④各グループで選んだ文とその理由を全体で共有する。          ⑤各グループで再度検討し、書き手が最も伝えたいことが書かれた文を選ぶ。          ⑥全体で各グループの選んだ文と理由を共有し、検討する。          ⑦要点を捉える読み方について、教師の説明を聞く。</p>	<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p> <p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)          ・教科書本文の内容の読み取りが十分ではない生徒に対しては、教師が教科書本文を音読し、音声面から理解を促す(言語活動等①)。</p>
5	<p>■教科書本文の海洋汚染を防ぐ取組について読み、自分の考えなどを伝え合う。</p> <p>①教科書本文を読み、おおまかな内容を捉える。          ②再度教科書本文を読み、書き手が最も伝えたいことを捉える。          ③海洋汚染を防ぐために自分ができることについて考え、複数のペアと伝え合う。          ④伝え合ったことを踏まえ、自分の考えを再構築し、その内容を書く。          ⑤④を全体で共有する。</p>	<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p> <p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)          ・自分の考えを表現することが十分ではない生徒に対しては、教師が個別にアドバイスをを行う(言語活動等③)。</p>

後日	ペーパーテスト（㊦p. 8） （環境問題についてまとめた文章を読み、自分の考えを書く：「読むこと」に重点を置いた「読むこと」と「書くこと」の領域統合型の評価問題）	ここでは、〔記録に残す評価〕を行います。	
		○	〔定期テスト〕

※第1時から第5時までは、〔記録に残す評価〕は行いませんが、毎時間のねらいに即して生徒の活動の状況を把握し、〔指導に生かす評価〕を行います。〔記録に残す評価〕は、後日のペーパーテスト〔定期テスト〕において行います。

### 3 本時〔第4時〕

#### (1) 本時のねらい

教科書本文の要点を捉え、書き手の最も伝えたいことを伝え合う。

#### (2) 本時の展開

言語活動等	教師の指導のポイント
①教科書本文を読み、おおまかな内容を捉える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書本文を読ませる前に、その内容を表した写真について生徒とやり取りすることで、本文のキーワードに気付かせる。</li> <li>概要を捉えさせるために、発問によって読み取りの視点を示す（㊦p. 4 資料1）。</li> </ul>
②再度教科書本文を読み、書き手が最も伝えたいことが書かれた文を選び、印を付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>要点を捉えさせるために、発問によって読み取りの視点を示す（㊦p. 5 資料2）。</li> </ul>
③グループ内で選んだ文とその理由を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒とやり取りを行いながら、書き手が最も伝えたいこととその理由を伝える表現（“I think [選んだ文] is the most important sentence because 主語+動詞”）を確認する。</li> <li>机間指導を行い、各グループでどのような考えと理由が出ているか把握する。</li> </ul>
④各グループで選んだ文とその理由を全体で共有する（㊦pp. 5-6 資料3）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの考えに触れることができるよう各グループが選んだ文とその理由を黒板に板書する。</li> </ul>
⑤各グループで再度検討し、書き手が最も伝えたいことが書かれた文を選ぶ（㊦pp. 5-6 資料3）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>出された文を比較し、重み付けを行うことで、書き手が最も伝えたいことが書かれた文を選ぶことができるようにする。</li> </ul>
⑥全体で各グループの選んだ文と理由を共有し、検討する（㊦pp. 5-6 資料3）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>選んだ文とその理由について全体で共有する。</li> <li>④⑤を経て考えが変わったグループにはその理由を述べるよう促す。</li> </ul>
⑦要点を捉える読み方について、教師の説明を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「最も重要な部分を読み取るポイント」について確認する（㊦p. 7 資料4）。</li> </ul>

#### 4 本事例における指導の工夫等

ここでは、本事例において「書かれた内容について、自分の考えを示すことができるように、話の内容や書き手の意見などを捉える力」を身に付けさせるための指導の工夫等を紹介します。「読むこと」の指導に特化して示しています。


##### (1) 読む目的を明確にした発問の工夫

「読むこと」においては、読む目的（「必要な情報を捉える」「概要を捉える」「要点を捉える」）に応じた読み方を指導することが大切です。発問等によって読み取りの視点を示すことで、生徒が目的に応じた読み方を踏まえて、英文を読むことができるようになります。

##### ① 概要を捉えるための発問例


本時の言語活動等①「教科書本文を読み、おおまかな内容を捉える」における教科書本文の概要を捉えるための発問例を示します（資料1）。

【5W1Hに着目して読ませる】




Read the text to understand the outline.  
What is the text about?  
Who found it?  
When and where was it found?  
How big is it?  
Read in pairs.

【図や表などにまとめながら読ませる】



Read the text to understand the outline.  
Write the keywords in the table.

【各段落の最初の1～2文をまず読ませる】



Let's catch the outline of the text.  
First, read the beginning of each paragraph.

【資料1 概要を捉えるための発問例】

② 要点を捉えるための発問例

本時の言語活動等②「再度教科書本文を読み、書き手が最も伝えたいことが書かれた文を選び、印を付ける」における教科書本文の要点を捉えるための発問例を示します（資料2）。

【筆者の伝えたいことを予想させた上で読ませる】



Read the text. This time please find the most important sentence in the text. What does the writer want to tell you the most? Choose one sentence from the article and underline it.

【結論等を表す語句に注目させて読ませる】



Read the text. This time please find the most important sentence in the text. It is often written after the words such as "So," "Therefore," "In conclusion," and so on.

【資料2 要点を捉えるための発問例】

(2) グループや全体で考えを共有する場を設定

教科書本文の要点を的確に捉えるために、グループや全体で他者と考えを共有する場を設定します。他者が選んだ一文とその理由を聞いて自分の考えと比較することで、書き手が最も伝えたいことは何か吟味することができます。本時の言語活動等④⑤⑥の実際を以下に示します（資料3）。

【言語活動等④：各グループで選んだ文とその理由を全体で共有する】



Please tell us the sentence you chose and why. Group 1, please.

We think "sentence A" is the most important sentence because it's a surprising information for us.



Group 1



Thank you Group 1. Definitely, I was surprised to read the sentence too. How about Group 2?

We think "sentence B" is the most important sentence because we have to protect the beautiful ocean.



Group 2



Right. We benefit from the ocean, so we have to protect it. Thank you, Group 2. Group 3, tell us your idea.

We think "sentence B" is the most important sentence because if we reduce plastic garbage, we can help sea animals.

I see. We have to reduce plastic garbage.

We think "sentence C" is the most important sentence because it warns us to stop polluting the ocean.

You think it's a warning from the writer. Interesting! Thank you Group 4. Now you know other group's ideas. Based on that, can you think which sentence is the most important one more time?

Group 3

Group 4

【言語活動等⑤：各グループで再度検討し、書き手が最も伝えたいことが書かれた文を選ぶ】

**Group 1 の話し合いの様子**

違う考えの班もあったね。

僕たちは"sentence A"を選んだけど、よく文章を読んでもみると、他にも surprising information に当たる部分がいくつかあるね。

そうだね。ということは、"sentence A"は、書き手が一番伝えたいことじゃないかもね。

【言語活動等⑥：全体で各グループの選んだ文と理由を共有し、検討する】

If you change your idea, please tell us the reason.

Now we think "sentence B" is the most important sentence because we have to reduce the garbage to stop polluting the ocean.

Why did you change your idea?

We found other surprising information in the text ... "sentence A"の他にも、so "sentence A" is not the most important sentence. それから... We think the writer wants us to reduce the garbage.

I see. I understand the reason well.

Group 1

【資料3 言語活動等④⑤⑥の実際】



### (3) 最も重要な部分を読み取る方法の指導

本時の言語活動等⑦「教師の説明を聞く」において生徒に提示した「最も重要な部分を読み取るポイント」について示します（資料4）。生徒が以下のような点に着目して読むように、最も重要な部分（要点）を読み取る方法を指導することが大切です。

- ・One paragraph has one main idea or one important point.
- ・The main idea of a passage usually appears in the beginning of the paragraph.
- ・The most important points of a passage are often written in the first paragraph and in the last conclusion section as well.
- ・When the passage starts with a question, the answer to it is usually important information.

国立教育政策研究所「中学校 英語 授業アイデア例『書き手の一番伝えたいことを読み取る力を高めよう』」より

#### 【資料4 最も重要な部分を読み取るポイント】



読む目的（「必要な情報を捉える」「概要を捉える」「要点を捉える」）に応じた読み方ができるように、それらを読み取るポイントについて生徒に明示しましょう。

## 5 評価問題

単元の指導を通して、育成を目指す資質・能力が身に付いたのかテストする必要があります。ここでは、そのための評価問題と採点の基準の例を示します。



- (1) 後日のペーパーテスト(環境問題についてまとめた文章を読み、自分の考えを書く:「読むこと」に重点をおいた「読むこと」と「書くこと」の領域統合型の評価問題)

定期テストにおいて、「書かれた内容について、自分の考えを示すことができるように、話の内容や書き手の意見などを捉える力」を見取るために、「読むこと」に重点を置いた領域統合型の評価問題を出題しています(資料5)。「思考・判断・表現」の評価問題です。

### 〔指示文〕

英語の授業で、次のような資料が配られました。これを読んで、文中の問いかけに対するあなたの考えを英語で簡潔に書きなさい。

Food loss is one of the most serious environmental problems that we have in Japan. Do you know that we throw away 6,000,000 tons of eatable food every year in Japan? We call it food loss. It is said that 46% of the food loss is from the houses. The rest is from food industries such as restaurants, supermarkets and so on. However, there are many people that are hungry in the world. One in nine people are suffering from serious hunger. Many children can't have enough food to grow properly.

It is not the time for us to waste food. We should stop wasting food. I think there are many things that we can do to stop the food loss. What can we do? Please give me your answer.

### 【資料5 評価問題】



① 採点の基準の例

1	<p>フードロスを止めるために何ができるかという質問に対する自分の考えを、十分理解できる英語（大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるものを含む）で解答しているもの</p> <p><b>【正答例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ We don't buy too much food.</li> <li>・ We can freeze food to keep it fresh.</li> <li>・ I can take food from the front at the store_ (ピリオドなし)</li> <li>・ stores can discount food before they throw it away. (大文字・小文字の書き分け)</li> </ul>	2 点 (A)
2	<p>フードロスを止めるために何ができるかという質問に対する自分の考えを、おおむね理解できる英語（書き手の考えを伝える上で、大きな支障となる語や文法事項の誤りがないもの）で解答しているもの</p> <p><b>【準正答例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ We can <u>freze</u> food to keep it fresh. (つづりの誤り)</li> <li>・ <u>Store</u> can give animals old vegetables. (複数形の誤り)</li> <li>・ We don't buy too <u>many</u> food. (形容詞の誤り)</li> <li>・ Eating everything. (語や句で解答)</li> </ul>	1 点 (B)
3	<p>フードロスを止めるために何ができるかという質問に対しての答えになっていないもの</p> <p><b>【誤答例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ We should not eat too much. (解決策を書いていない)</li> <li>・ I'm sad to hear that. (自分の思いを書いている)</li> </ul>	0 点 (C)
4	書き手の考えを伝える上で、大きな支障となる語や文法事項等の誤りがあるため、伝えたい内容が理解できないもの	
5	上記以外の解答	
6	無回答	